

心を つなぐ

友情人形ものがたり

ゆうじょうにんぎょう

宮城県 版

文・え かわむら やくり

このお人形の名前は「ステラ・ローラネル」
ひろぶちほいくしよ
広瀬保育所のお友だちとなかよへんらじついます。

「古い人形だね。どこの国の人形？」

「これはね。みんなのおじいちゃんやおばあちゃんが
生まれるずっと前、

遠いアメリカからはるばる海をわたって
きた人形だよ。」



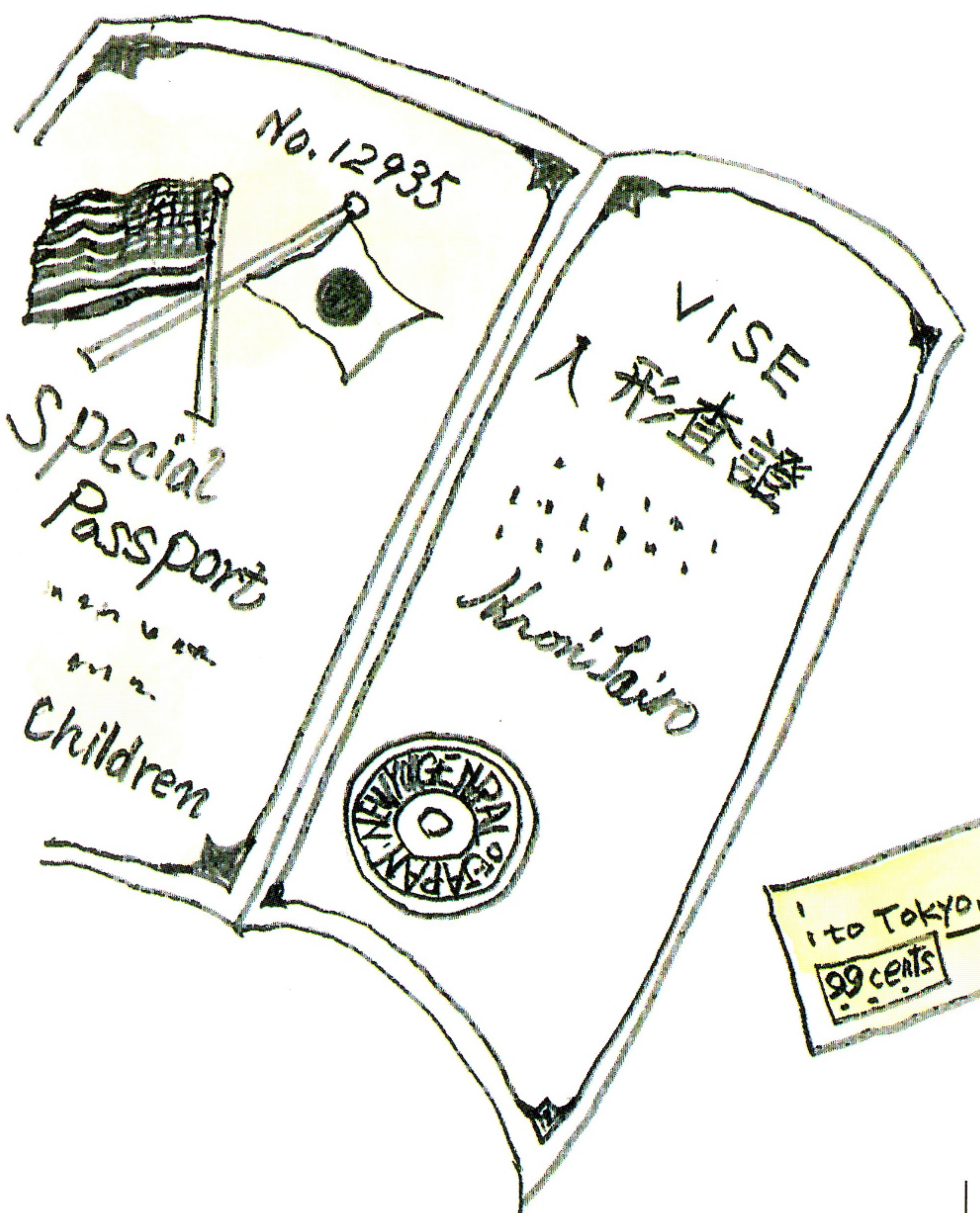
「ジュンジュン、

その名前がついているの？」

「このお人形の服やぼうし、
くつや くつしたなどを
作ってくれた おうちが
ステラさんと

ローラネルさんのところだったから。
夏用と冬用の着がえも
作ってくれたんだよ。
そこのお母さんと子どもたちで。

外国からきたのでパスポート、
船にのってきたので、きっぷもあるんだよ。



「ジュンジュン、いっしょに海をわたってきた

このお人形の なかまは どねんらじつと思ひ。」

「十人へんらじつ。」

「百人へんらじつかな？」



いちまんにせんなひやくたい
一万二千七百体くらい。

お人形さんだから、一体二体とかぞえるんだって。

「そんなにたくさんのお人形、だれがお世話しておくってくれたのかな。
どうして、日本にとどけてくれたんだろう。」

それでは、お人形（にんぎょう）のものがたり はじまり はじまり…

お人形（にんぎょう）をおくりたいと思ったのは この人（ひと）。ギューリックさんです。

ギューリックさんは、ながいこと日本（にほん）でくらしていました。

牧師（ぼくし）さんとして、日本中（にほんじゅう）をたずねたり、

大学（だいがく）の先生（せんせい）をしたりしていました。



このギューリックさんが、

アメリカにもどってしばらくして、

日本（にほん）とアメリカとのながかわるくなってきました。

「どうか なかよくなってほしい。

なかよくなるには

まず、子どもたちから。

子どもたちこそ、

平和（へいわ）な世界（せかい）をつくってほしい。」

こういう ねがいを アメリカの国（くに）全体（ぜんたい）によびかけました。

日本（にほん）の子どもたち（こ）に人形（にんぎょう）を送（おく）って なかよくなってほしい。

アメリカのたくさん（た）の子どもたち（こ）、

そして、お家（うち）のかたがたが

このよびかけに こたえて

人形（にんぎょう）をおくってくれたのでした。

日本（にほん）の子ども（こ）たちは「ひなまつり」をいわう ということ（こと）を 知（し）っていたので、

「ひなまつり」に間（ま）に合（あ）うようにと、一九二七年（ねん）（昭和（しやうわ）二年（ねん））の春（はる）、

たくさん（た）の人形（にんぎょう）をのせた船（ふね）が アメリカから日本（にほん）の港（みなと）にやってきました。

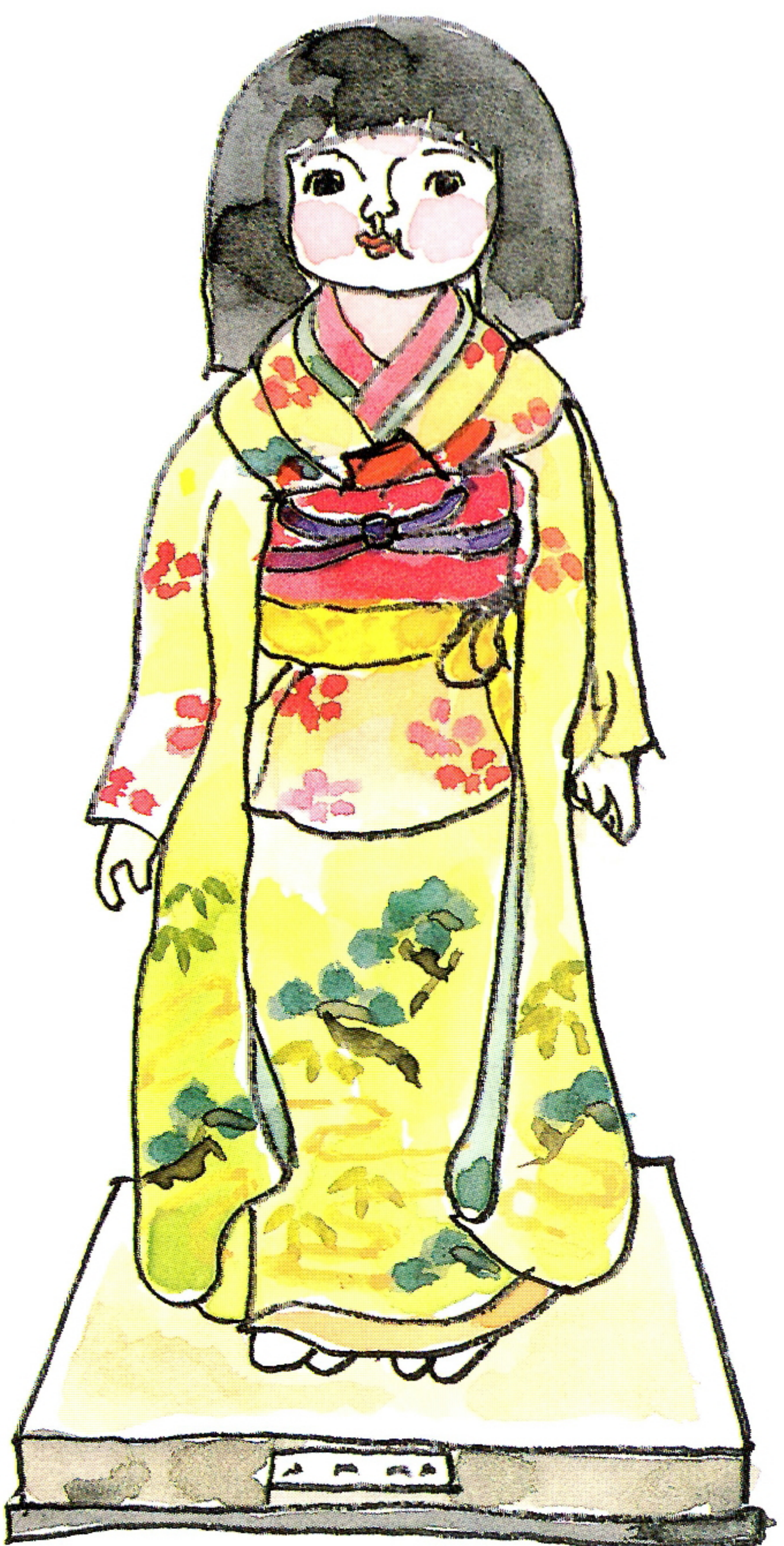
日本からも、お返しの人形をおくることにしました。

アメリカの子どもたちは「クリスマス」を楽しみにしている。
だから今度は「クリスマス」に間に合うようにプレゼントしよう。

人形をおくられた たくさんの学校の子どもたちに
募金をよびかけました。

「一人一せんずつ 出し合おう。」

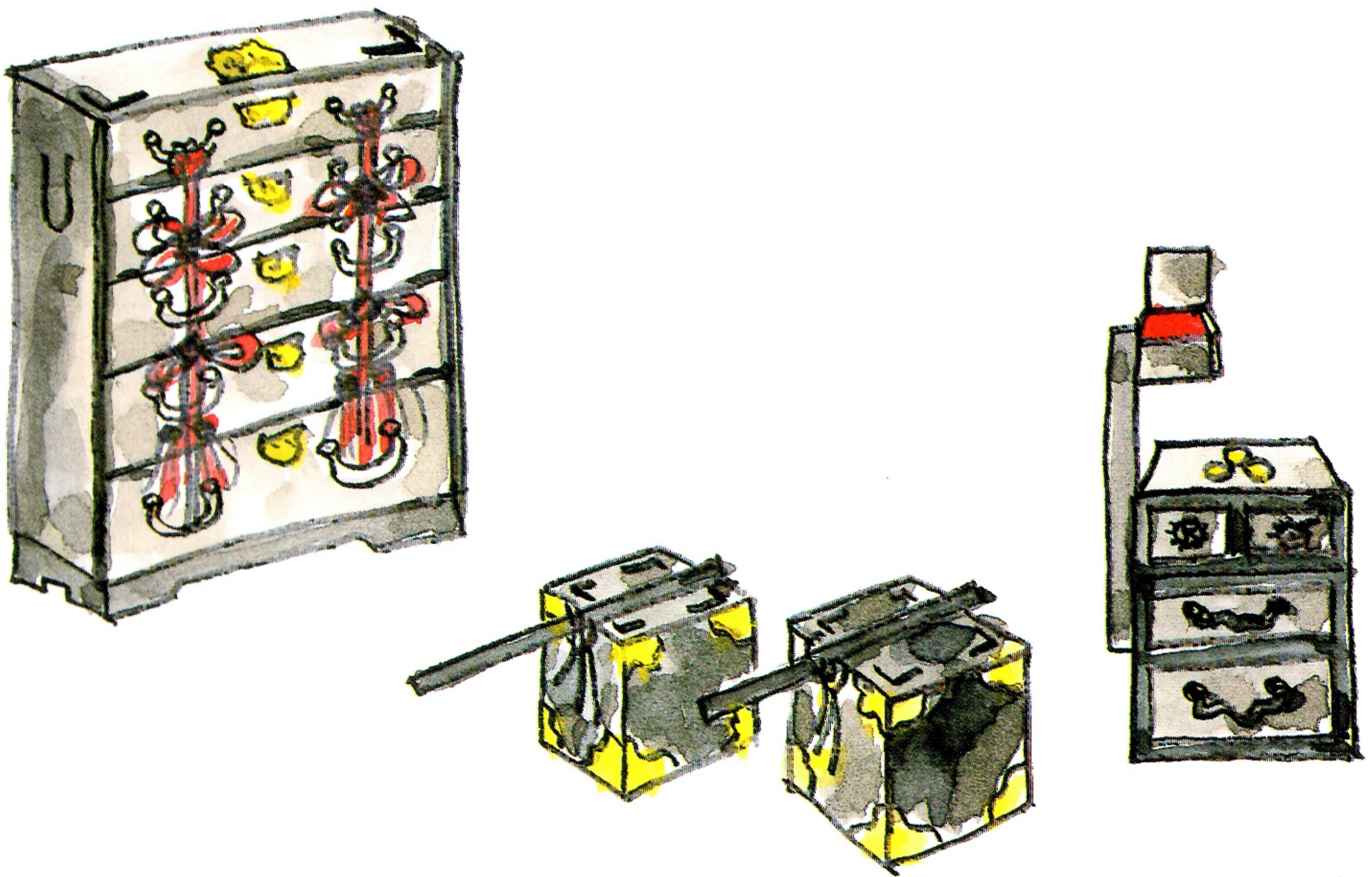
日本では子どもたちが
おごつかいを もらっていないんです。



うでのいい人形師さんたちが
りっぱな市松人形をつくりました。
その一つひとつに名前をつけました。
「ミス宮城」「ミス長崎」
というように、送った県の名前です。

お嫁入り道具もつけておくりました。
みんなは ひなまつりの段かざりで
下のほうに ならんでいるのを
見たことがあるでしょう。あれです。

ぜんぶで五十八体。
人形の背の高さは八十センチぐらい。
大きくて りっぱなので、
送られたアメリカでは
ほとんど美術館や博物館にかざられていたようです。



ステラ・ローラネルちゃんたち、
日本にほんに送おくられてきたたくさんの人形にんぎょうたちは
日本にほんの子こどもたちと、
遠足えんそくのときは いっしょにおでかけしました。

「がんばれー!」
「ヤッター すい。」
運動会うんどうかいや すもう大会たいかいでは、
子こどもといっしょにおうえんできるよう
なかまのわに 入いれてもらいました。

「おはよう。」
「さよなら。また、あしたね。」

朝夕あさゆゆう、子こどもたちにあいさつしてもらって
楽たのしい毎日まいにちをすごしていました。



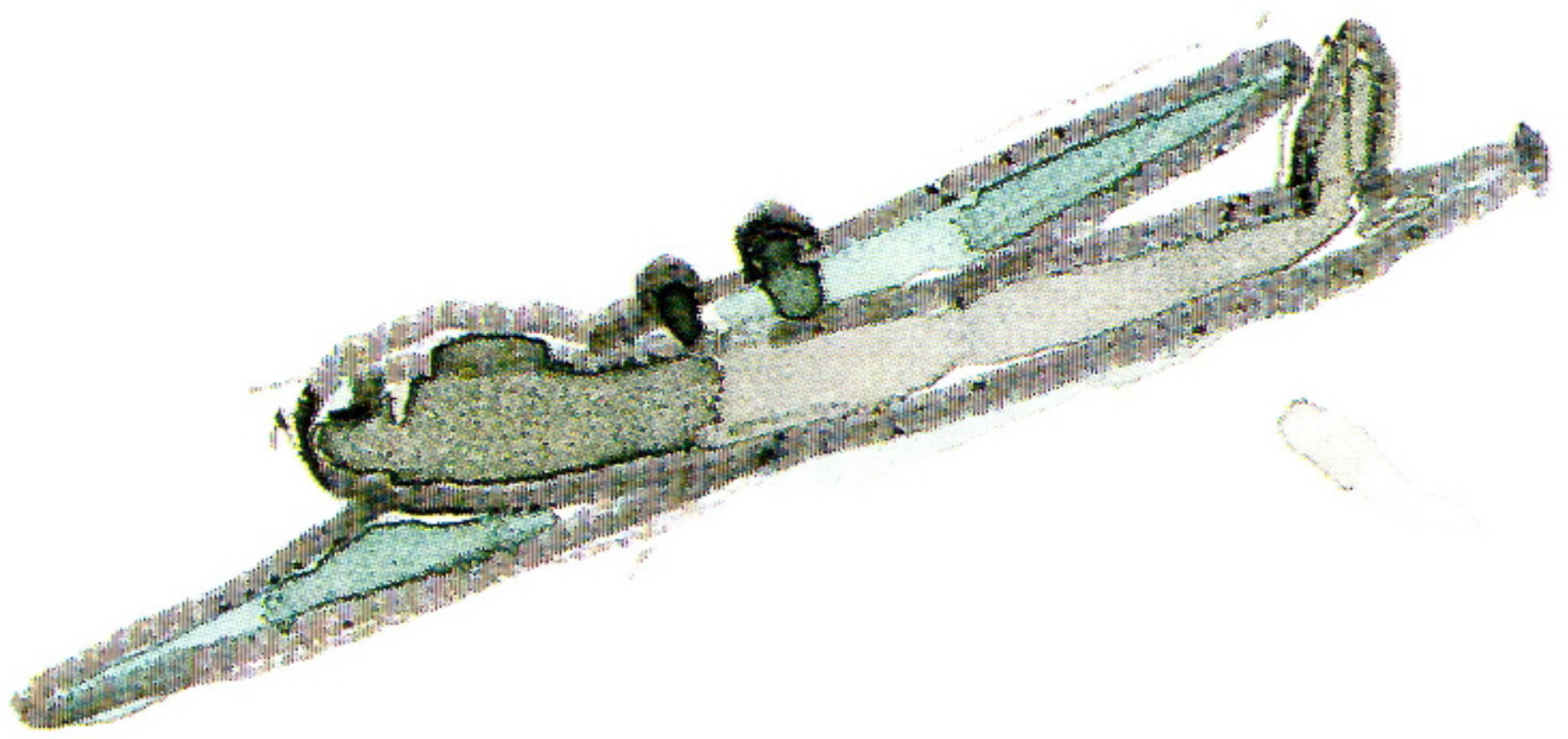
もちろん、ひなまつりのときは
おひなさまといっしょに かざって
おいわいしてもらっていたのです。

あかりを つけましょ ぼんぼりに
お花はなをあげましょ 桃もものはな
五人ごにんばやし ふえたいこ
きょうは たのしい ひなまつり

おだいらさまに おひなさま
二人ふたりならんで すましがお
およめにいらした ねえさまに
よくにた かんじよの 白しろいかお

ところが…

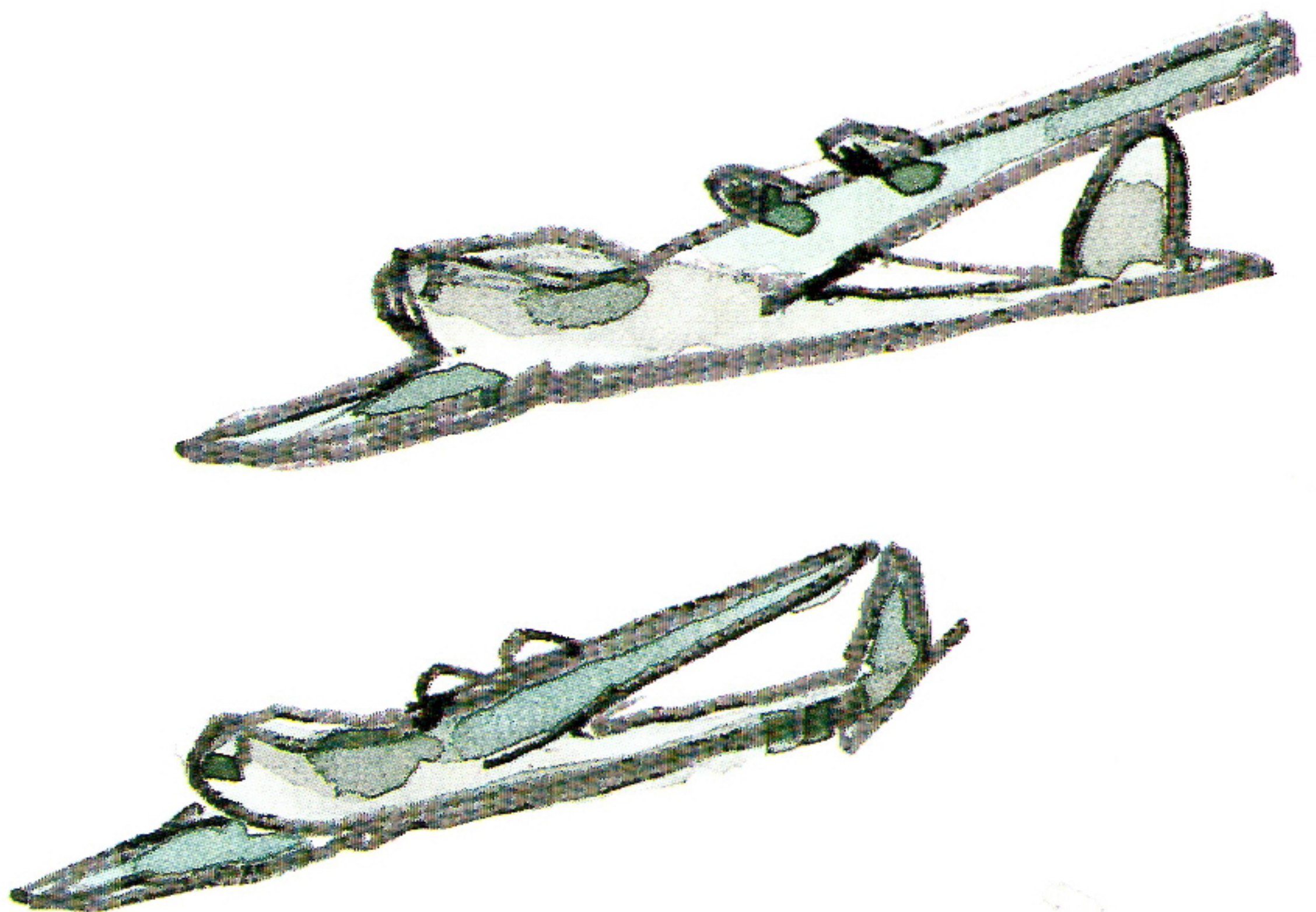
今から 六十二年まえ
日本と アメリカとの間に
せんそうが おこりました。
たいへんな よの中に なったのです。



「平和の使い」だった お人形さんたちは



「にへんらしい 敵」となってしまったのです。
日本中のあちこちで こわされたり、やかれたり、
池に しずめられたりしました。



わたしたちの住んでいる宮城県でもおなじでした。

せんそうで みんなの心が
くるってしまったのですね。

あの やさしい心はどっか行ってしまったのでしょ。

「やかないで…

かくしてちょうだい…」

というように「ママ」のこえがきこえたという人がいます。

上沼小のメリーちゃんをまもった方々です。

そのころ、命がけで、

メリーちゃんを まもってくれたのです。

せんそうちゅう、

「人形をもやすように。」

けいさつから めいれいされた学校での
ある夜の事です。

「めんこい人形を やくなんて…」

そんなこと できない。」

と、先生と ようむいんのおじさんは、

大きくて おもい戸だなをうごかしました。

木のはこから 人形をだして、

そうっと だいたとき、あの

「ママ…」

のこえを きいたのです。

かべと とだなの すきまは すこしだけ。

でも、そこにかくって、

「よっぴらしょ。」

おもい とだなを もとに もどしました。



くらやみのなか、ハラハラ、ドキドキの
ながーく かんじた 時間でした。



「人形は やいたか？」

つぎの あさ、やはり けいさつは しらべにきました。

からになった 木のはこを見せたら、やいたと おもったようです。

それでも、あちこち さがして たしかめていきました。





せんそうが おわりました。

学校がっこうのものおきに かくしてもらっていた
桃生小もとうしやうのメリーちゃんど、
村田四小むらたよんしやうのメリーちゃんも ぶじでした。



村田むらたのメリーちゃんは、
日本人形にほんにんぎやうといっしょのケースに入はいって、
ながいせんそうが おわるのを
まっていたようでした。
もちろん、
しんぶんしに つつまれ、
外そとからは 見みえないように
ていねいに
ひもで むすんであったそうです。

しりょうじつ

おしいれの 中なかにあったのは、

米谷小まいやしやうの

バージニア・メリーちゃん。

先生せんせいの うちの

くらに しまってもらっていたのが、

三本木小さんぽんぎしやうの

ベティ・ジエーンちゃん。

広瀬保育所ひろせほいくしよの

ステラ・ローラネルちゃんは、

おてらの

本ほんどこの たなの中なかに、

うしろむきにして

しまわれていました。



「せんそうちゅう、
いじめられていたのを
かわいそうに おもい、
としよかんの 金庫きんこに かくしてくれたのでは。」
といわれているのが、
金山かなやまとしよかんの お人形にんぎょうさん。
人形にんぎょうの名前なまえは だれも わかりませんが、
金山小かなやましょうにおくられたものでは とおもわれます。

いまも、
かみの毛けはなく、
ふくも きていません。
くつと くつ下したは はいています。
せんそう中ちゅうに いじめられたという
しょうじとして のこされている
だいじな お人形にんぎょうです。



せんそう中ちゅうには なんとか ぶじだった
お人形にんぎょうのなかに、
そのあと、たいへん あぶない おもいをした
お人形にんぎょうも あります。

それは 川渡小かわたびしょうの
ヘレン・ゼーン・ヘースちゃん。



せんそうが おわって、二年にねんくらいたった ある夜よる、
学校がっこうが 火事かじになりました。
「あぶない！」
でも、だれかが たすけて くれました。

「アメリカから おくられた人形にんぎょうだから、たいせつにするように…」
と ずうっと先生せんせいたちが いいつづけてきたからだったのでしょう。
人形にんぎょうは だいじな しょるいといっしょに 運びはこだされたのでした。

全国に一万体いじょうも おくられた人形のうち、
このようにしてのじつているのは
むねぐらゐると おもいますか？

空しゅうで やけてしまった人形もあるでしょうが、
三百体くらいしか のじつていないのです。

宮城県の 学校などに おくられた人形、
二百二十一体の うち

せんそうが おわってから、
いままでに 見つかったのは？

たったの 八体です。

「せんそうは
人の ニころ を くるわせる」

みなさんは、どう おもいますか？



さて、

日本と アメリカが せんそうをしていたあいだ、
日本から おくられた 市松人形も

いじめられていたのでしょうか。

ほとんどは おくられてから だいぶ たっていたので
わすれられていた ようでした。

そのなかで、

せんそう中も きちんと かざっていた
はくぶつかんが ありました。

「いまは せんそうを しているけれども、
日本人みんなが わるいわけではない。

この人形は アメリカと日本の子どもたちの
ゆづじょうの しるし である。」

という、プレートをつけて みんなに見せていました。
「ミス香川」です。「ミス香川」は里帰りもして、
いまでも、画国の けいごのかげ橋と なっています。

平和な世界になるように ねがって

いまも お人形さんたちの こころが つづいて います。

「ミス宮城」をたいせつに かわいがっている

マーガレット・コルベットさんは、

あたらしい ゆうじょう人形をおくってくださいました。

桃生小の スザンヌちゃん。

上沼小の プディンちゃんです。

学校では「平和と ゆうじょうの あかし」

として、たいせつに かざっています。

人形は いつも 子どもたちと なかよくしています。

マーガレット・コルベットさんが、

今回、「ミス宮城」をつれて 日本にきました。

七十六年ぶりの うれしい 里帰りです。



ギューリック・三世さんは、

日本中の いろいろな学校に、

新・友情人形をおくっています。

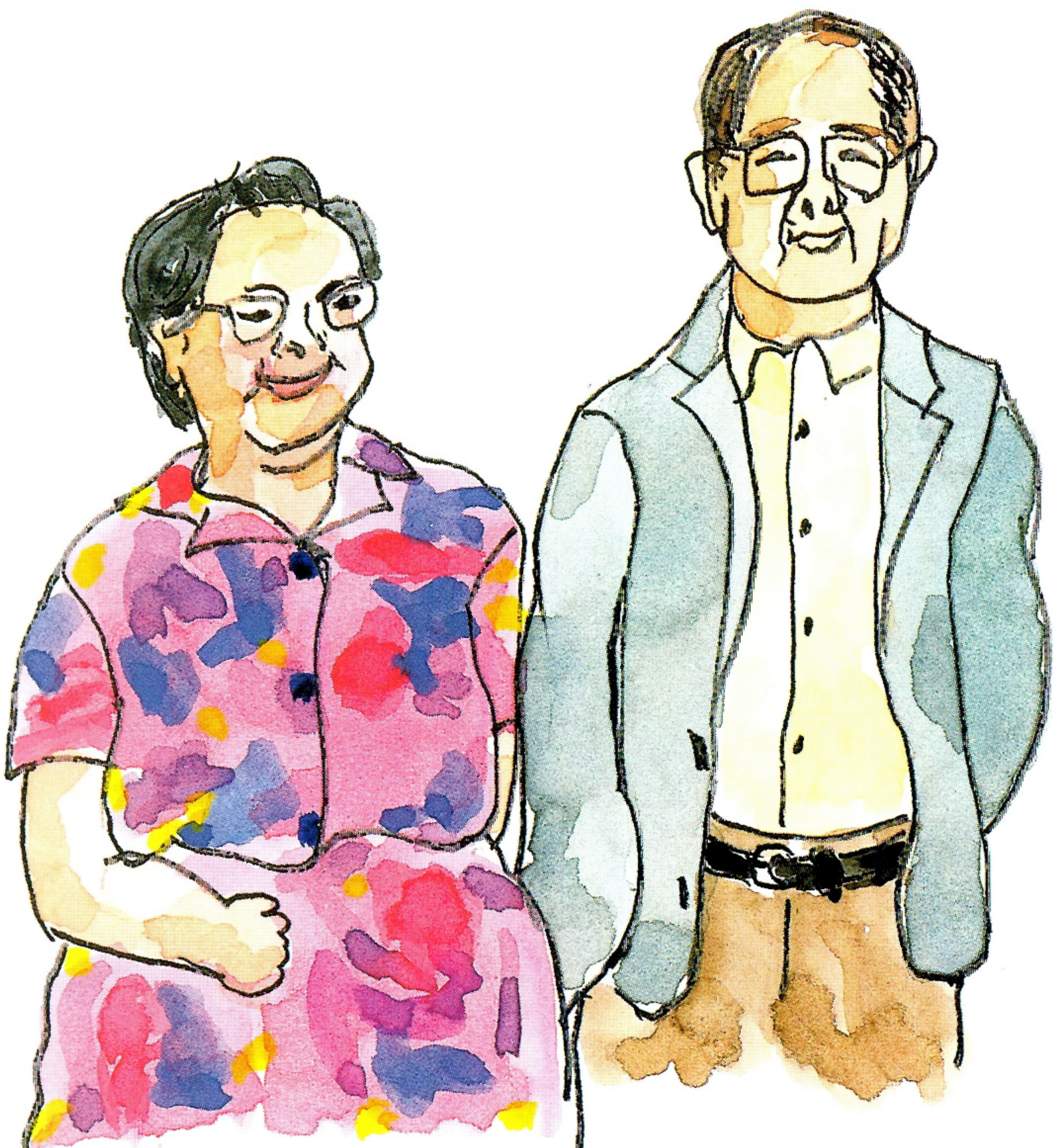
宮城県では、

仙台の 八木山小に

ケリーちゃんをおくってくれました。

ケリーちゃんも 学校の子どもたちに

かわいがられています。



日本からも あたらしい こころがはじまっています。

千葉県の 浦安市などから、

お人形をつくって、

アメリカに おくりつづけている 人たちがいます。

終

「ミス宮城」里帰り記念

発行日 2003年5月20日

発行人 齋藤 俊子

〒981-0504 宮城県桃生郡矢本町

小松字上浮足 83-2

印刷 耕文社

製本 手代木製本所



お人形は なにも しゃべりません。
でも、いつも
どこでも
みんなに かたりかけて いるようです。

「なかよく しよつね。」

やさしい こころを なくみならせようよ こころ。

せかいじゅうが

平和で

しあわせに くらそめようよ。」